

高等学校（生物基礎）学習指導案

- 担当学年 高1年8組
- 指導教諭
- 教 生 前田 真希 (京都 大学)
- 1、日 時 平成25年6月8日(土)
- 2、単 元 生物の体内環境 (ウ) 免疫
- 3、単元設置の理由 生物には、異物を排除する仕組みが備わっていることを学ぶため。
- 4、時間配当 50分
- 5、本時の指導 プリント・板書・資料集を用いた一斉授業
- 6、本時の目標 抗体の多様性をつくるしくみや、免疫に関わる細胞・組織を理解する。
- 7、本時の準備 プリント
- 8、展 開

| | 学 習 内 容 ・ 活 動 | 指 導 要 領 (留 意 点) |
|-------------|--|---|
| 導 入 | <ul style="list-style-type: none"> ○前時の内容を復習し、抗体の構造を思い出す。 ○多種類の抗体がどのようなしくみで作り出されるのか、興味をもつ。 | <ul style="list-style-type: none"> ○前時の内容である抗体の構造について復習する。特に、可変部の立体構造が抗体によって異なることにより、抗原と抗体が特異的に反応することを思い出す。発問して生徒の理解度を確認する。 ○抗原は多種類あるが、それに対応する多種類の抗体をどのように作り出すか、発問し興味をもたせる。 |
| 展 開 | <ul style="list-style-type: none"> ○DNAが再構成されて抗体の多様性をつくるしくみを理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○抗体の多様性がつくられるしくみについて、転写・翻訳などの既習事項もふまえながら説明する。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○前時に学んだ生体防御の3種類がどのように協調しているのか、免疫の大まかな流れを理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○自然免疫・獲得免疫を含む生体防御の大まかな流れを、板書しながら説明する。細胞や免疫の名称を用いながら説明を行う。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○免疫に関わる細胞と組織について理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○免疫に関わる細胞と組織について、図を見ながら説明し、プリントの空欄をうめる。 |
| ま と め | <ul style="list-style-type: none"> ○免疫の大まかな流れを復習する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○次時に関連する内容として、体液性免疫と細胞性免疫の協調についてもう一度まとめる。 |